

令和5年度
自己評価・学校関係者評価（島田北幼稚園）

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	---

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価	自己総合評価	学校関係者評価	
			評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	B	B	社会的な生活習慣を指導する項目の評価が高く評価され、元気で明るい子どもを意識した指導は良好に実施されています。この結果から、具体的な指示に対する理解度は高く、抽象的な内容はやや理解しにくい傾向が現れています。今後は、具体的な指示を中心に理解を求めたい。
子ども達が元気に挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	3			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	4			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	C	B	園の方針がやや不明確な状態が評価に影響しています。教育の方向性を確認のうえ教職員が共有することで解消し、過去の計画に左右されることのない、近年求められる教育内容の実現に努めたい。この際、各自の意見を尊重し適切な運営に努めることを期待します。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	2			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	2			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	2			
行事等の計画とその運営は適切であった。	2			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	2			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	計画の実施に伴い、万全の準備や活動内容の細部において不安を感じる評価があります。教育対象を観察し優しく丁寧な活動を心掛けるよう期待します。又、体験を重視した活動は、コロナ禍以来減少傾向が伺えます。幼児期に大切な経験を与える教育計画を行い活動できるよう考えたい。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	2			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	2			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	2			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	A	A	大きな事故が無く安全な教育施設の運営が行われています。また、コロナ禍を経験したことにより、衛生面での指導が強化され、爆発的な感染症も確認されません。子ども達の視診を引き続き実施し、健康状況の確認を行います。事故発生時の対応について研修を求める評価があることから実施したい。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	4			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	3			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	2			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	B	一人一人の状況を把握し尊重することを基本に、楽しい幼稚園を意識し工夫した運営が確認できます。一方で、教師として子ども達に接する上で、言葉や態度について、特に意識すること無く対応している評価があります。無意識な対応は、意思の疎通や意見の相違を招き、誤解に繋がることを考えたい。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	4			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	3			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	2			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	B	低い自己評価であり、コロナ禍後研修のあり方が変貌し、参加することが難しい状況を理解します。多くの研修に参加するのでは無く、吟味した必要な研修参加が良いと思われます。一方で、参加した研修の成果を実行しようとする姿があります。
研修に参加するのは楽しい。	2			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	3			
今後研究したい課題やテーマがある。	2			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	B	B	地域行事への参加が減少し、対応も消極的な近年です。地域への貢献を模索し必要とされる参加を検討したい。又、地域の教育センターとしての役割についても再考し、効果ある対応が求められます。保護者との連携は意識して行い、一定程度の教育効果があります。今後も誠実な対応を求めます。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	3			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	2			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	2			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	組織の一員としての立場を意識した姿があります。教師としての自覚と責任は園児一人一人の成長に直接影響すると考えます。自らが率先した積極的な教育活動に期待します。日常の活動で発生するマナーに対する対応と、挨拶に関する意識を高めたい。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマナー化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	2			

令和6年3月16日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に3月9日に評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会
委員長 町 淳子



*自己評価各項に対する評価内容（コメント）は、自己評価書に記載を確認